

【学童部】投球数制限に係る競技者必携の改正について

競技に関する連盟特別規則

8.投球制限

現行 (2019)	改正 (2020)
<p>投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。</p> <p>注) 2019年度の取り扱いは、全国大会において導入することとし、都道府県大会及び末端支部大会は、支部の判断で導入することとする。</p>	<p>学童部・少年部の投球数制限について</p> <p>選手の肘、肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数は下記の取り扱いとする。この投球数制限は、選手が安全に安心して健康で野球を楽しむことを目的としている。</p> <p>【学童部】</p> <ul style="list-style-type: none">①70球以内（4年生以下60球以内）②試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。③ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。④タイブレークになった場合、1日規程投球数以内で投球できる。⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。⑥投球数の管理は、大会本部が行う。